

2025年4月4日

各 位

東京都千代田区麹町三丁目2番4号
会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代表者名 代表取締役社長 岡田 淳
(コード番号: 7777)
問合せ先 取締役 茂木 龍平
電話番号 03 (3511) 3440

PURMX Therapeutics による、マイクロ RNA を用いた新規抗がん剤 MIRX002 の 頭頸部がんを対象とした第 I 相臨床試験の開始に関するお知らせ

株式会社スリー・ディー・マトリックス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田淳、以下「当社」）は、当社界面活性剤ペプチド^{*1}「A6K」を混合溶解剤として使用した「天然型マイクロ RNA^{*2}」補充型核酸医薬製剤^{*3}「MIRX002」に関して、株式会社 PURMX Therapeutics（本社：広島県広島市南区霞一丁目2番3号、代表取締役社長：田原栄俊、以下「PURMX 社」）への A6K の特許譲渡並びにライセンス契約を締結して資本提携をしております。現在、国立大学法人広島大学（学長：越智光夫）を中心に、MIRX002 の悪性胸膜中皮腫を対象とした医師主導治験（第 I 相）が実施されており、当社の A6K がマイクロ RNA の混合溶解剤として用いられています。

この度、PURMX 社より MIRX002 について、新規に頭頸部がんを対象とした第 I 相臨床試験を開始し、最初の被験者へ投与された旨の報告がありましたので、お知らせいたします。MIRX002 は現在開発中の悪性胸膜中皮腫だけでなく、頭頸部がんにも有効性が期待できることから、この度の第 I 相臨床試験の開始に至りました。本臨床試験の詳細は、PURMX 社によるリリースをご参照ください。

<https://www.purmx.com/ja/newsrelease>

天然型マイクロ RNA を体内に投与すると、通常、マイクロ RNA は瞬時に分解されてしまうため、様々な工夫が求められています。当社界面活性剤ペプチド A6K とマイクロ RNA を混合することにより、マイクロ RNA の生体内での分解をある程妨げ、マイクロ RNA の状態を安定させることが明らかになっています。当社は、核酸医薬によるがんの治療が今後さらに広がっていくと考えており、当社が提供する界面活性剤ペプチド A6K 等を使用した核酸医薬の研究開発を推進していきます。

なお、本件による通期業績への影響及び現中期経営計画における事業収益への影響はございません。A6K を用いた MIRX002 の開発状況や、その他の関連事項が業績に影響を与える場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

【参考（語句説明）】

*1：界面活性剤ペプチド

6-10 残基程度のアミノ酸から構成されるペプチドで、疎水性部分と電荷をもつ部分が分子内に共存することにより界面活性剤としての性質を示します。水溶液中で自己組織化されることでナノチューブを形成し、マイクロ RNA をはじめとする各種の分子と複合体を形成します。それにより体内での核酸の分解を一定程度妨げ、核酸の状態を安定させることがわかっております。

*2：天然型マイクロ RNA

マイクロ RNA は、生体内に存在する 20~25 塩基からなる微小な RNA であり、他の遺伝子の発現を調節することで様々な生命現象を制御する分子です。人の体内には、判明しているだけでも 2500 種類以上のマイクロ RNA が存在しています。天然型マイクロ RNA とは、マイクロ RNA を化学合成する際または合成した後に、核酸の修飾を行わず、生体内に存在する塩基で配列を再現したマイクロ RNA を指します。

*3：核酸医薬

核酸医薬とは、化学合成により製造される天然型ヌクレオチドまたは化学修飾型ヌクレオチドを基本骨格とする薬物であり、遺伝子発現を介さずに直接生体に作用することを特徴とする薬剤です。様々な遺伝子に対する核酸医薬が注目されていますが、現在のところマイクロ RNA を補充療法として用いた核酸医薬で承認されているものはありません。